

# 十年のあゆみ



関西浦高会

# 目 次

記念誌発行にあたって 関西浦高会会長 佐藤 進 . . . . . 3

写真で辿る 10 年の歩み . . . . . 4

## 記念誌への寄稿

- ・ 不思議な塗料「漆」の魅力 阿佐見 徹 (高 20) . . . . . 1 7
- ・ 近況報告 石川 仁一 (高 22) . . . . . 1 9
- ・ 動物と共に 65 年 関 高樹 (高 23) . . . . . 2 1
- ・ 胆膵内視鏡について 水野 成人 (高 32) . . . . . 2 3
- ・ 浦和駅西口再開発における  
公共投資の効果、そして娘々 牛見 浩 (高 33) . . . . . 2 5

## 特別講演

- ・ 加瀬豊氏講演 (2016 年 11 月 5 日) . . . . . 2 7

## 会報への投稿

- ・ 後の祭り 増野 義明 . . . . . 3 2
- ・ 卒業後の古河マラソン 土本 雅彦 . . . . . 3 4
- ・ ラグビー部の思い出 倉橋 一博 . . . . . 3 5
- ・ 樹木枯れ 2 題 木田 巖 . . . . . 3 6
- ・ ブラボー彩の国！  
映画「のぼうの城」、嬉しく・面白かった 長井 史夫 . . . . . 3 8
- ・ 京料理とは 永松 悌 . . . . . 3 9
- ・ 関西・北陸の味覚 佐藤 進 . . . . . 4 0
- ・ 幽体離脱って、経験ありますか 石田 宏二 . . . . . 4 1
- ・ 西宮との縁 山城 卓 . . . . . 4 2
- ・ 気になる国、キューバを見てきた～序章～ 岩崎 宏 . . . . . 4 3
- ・ 「思わぬ出会いにびっくり」 一ノ瀬友次 . . . . . 4 4
- ・ 「トライアル」地方選手権参戦記 河村 立 . . . . . 4 5
- ・ 「NinjaH2R」と私 山田 浩平 . . . . . 4 6
- ・ 航空機用エンジンに携わり 北原 一起 . . . . . 4 8
- ・ ふるさと通信  
北浦和名物・中華料理店“娘々” 高橋 仁司 . . . . . 3 4  
浦高のルーツ、旧制浦中跡地を訪問 佐藤 進 . . . . . 3 7

会則 . . . . . 5 0                      ときの流れ (年史) . . . . . 5 1



## 記念誌発行にあたって

関西浦高会

会長 佐藤 進

「関西浦高会10周年記念誌」を発行するにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。  
本会は、関西在住の一人のOBの声掛けが波紋となって広がり、平成20年（2008年）2月16日近畿2府4県（京都、大阪、兵庫、奈良、滋賀、和歌山）に在住の埼玉県立浦和中学校、埼玉県立浦和高等学校OB会員の親睦を図る目的で設立されました。現在、60有余名の会員を擁しています。11月に開催する総会を兼ねた懇親会、年2回の会報発行、春秋のイベント開催や、浦高生が参加し関西で行われる大会での激励や応援活動を行っています。関西浦高会は十年の迎えたばかりのまだまだ若い組織です。竹の節に例えるとやっと一節目を刻んだ若竹です。これからさらに節を重ねて青々とした太い竹に育つように、次の節目に向かい、さらに充実した活動を幹事一同、取り組んでまいります。

今後も、皆様のご支援、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

### 役員体制（平成31年度）

| 役 職    | 会 員 名  | 卒 期   | 住 所    |
|--------|--------|-------|--------|
| 相 談 役  | 山本 就永  | 高 8   | 兵庫県神戸市 |
| 会 長    | 佐藤 進   | 高 1 7 | 大阪府箕面市 |
| 副会長&会計 | 長井 史夫  | 高 1 8 | 兵庫県神戸市 |
| 幹 事    | 一ノ瀬 友次 | 高 9   | 大阪府豊中市 |
| 〃      | 山城 卓   | 高 1 2 | 兵庫県西宮市 |
| 〃      | 石田 宏二  | 高 1 4 | 兵庫県神戸市 |
| 〃      | 石川 仁一  | 高 2 2 | 兵庫県明石市 |
| 〃      | 山田 浩平  | 高 2 3 | 兵庫県芦屋市 |
| 〃      | 佐藤 不二夫 | 高 2 4 | 京都府京都市 |
| 〃      | 水野 成人  | 高 3 2 | 奈良県生駒市 |
| 〃      | 河村 立   | 高 3 2 | 兵庫県神戸市 |

### 「関西浦高会」設立の経緯（会報6号・初代会長岩崎宏氏の記事より抜粋）

…会の創立（2008年2月16日）の1年ほど前、麗和会報の最後のページに「関西で同窓会を・・・」という記事を見つけた時は「えっ！そうゆう人がいるのか」と驚き、即座に会社の先輩で浦中OBの海野氏に電話、記事を書いた山本先輩に「集まりましょう」と連絡した。次々と出会いが続いたが、設立直前に思うような準備が整わず挫折しそうになって、高橋、一ノ瀬の両先輩に延期を相談した時は「そんな事ぐらいで挫けるな！力を貸すからやろう。」と親身のおしかりを受けた。未だ2、3回それも短時間会った事があるだけの間柄の両先輩の、突然のきついお叱りは今も忘れない。同窓の先輩らしい、暖かくもキッパリした一喝であった。……